



新築工事のご紹介



今回は今年春に完成した新築物件を紹介します。

金沢市京町のM様邸です。

構造材を表しとし、居室、玄関、水廻りの部屋の壁はすべて左官塗り壁としました。

床は能登ひばと杉。大黒柱はケヤキ

その他の柱はひのきです。外壁は左官塗り壁(そとん壁)、ひのき板張り、ガルバニウム鋼板を使用しています。道路に面している窓には目隠しルーバーを収納している戸袋を設けて、外壁のアクセントになっています。

地震保険

今年も地震が相次ぎ、4月に熊本で震度7が2回も記録されるこれまでに例のない震災が発生しました。10月にも鳥取で震度6弱の地震が発生しており、地震国日本を改めて印象づけました。

そこで地震保険というものが登場するのですが、地震保険は単独では契約できないものになっており、火災保険とセットでのみ加入できないものであることをご存じでしょうか。

地震保険が補償する損害とは、『地震』もしくは『噴火』またそれらが引き起こす『津波』を原因とする火災、損壊、埋没、流失によって生じた災害です。ちなみに火災保険では「地震で生じた火災による損害」や「火災そのものが地震によって延焼、拡大したことによる損害」については補償されません。



地震保険の補償の対象となるのは建物と家財です。建物については5000万円、家財については1000万円までが契約金額の限度となります。地震が発生して、支払われたお金の用途は問われません。修繕費用に使ったり、家財道具を新しくしたり、場合によっては公的な支援金と併せて新しく建て替えることも可能です。地震保険も年々加入率が高くなっていますが、世帯加入率は30%ほどです。

保険料率は、その地域毎に違いますが、北陸は関東などに比べて3分の1ほどの金額になります。だからといって油断は禁物で、震災に遭った熊本も北陸と同じ保険料率。地震保険への加入は必須ではないでしょうか。

地震保険は、1964年の新潟地震の被害を目の当たりにした田中角栄が地震保険の実現に尽力したといわれています。地震保険が誕生して50年経ちますが、田中角栄の実行力には改めて感嘆します。



1年生になったら

長男の恭丞も早いもので小学1年生になりました。学校にも元気通って、皆と仲良くしてるようです。

次男隼平(五歳)と三男玄悟(二歳)は保育園で元気に遊んでいます。隼平は、お昼寝をしなくなったせいか、夕方頃には電池切れを起こして夕飯前に熟睡。玄悟はアンパンマンがお気に入り、『アンパマ・アンパマ』と連呼しています。



東京オリンピックの会場問題にすっかり話題が変わってしまいましたが、最近までマスコミを騒がせていた豊洲新市場の盛り土問題。

なぜ盛り土をしていなかったのかというのも問題ですが、盛り土を『もりつち』と呼ばずに『もりど』と呼んでいることに違和感を持

っている方もおられるのではないのでしょうか？土木建築業界では、『もりど』と以前から言われており、私たち業界の人間は特に疑問を持っていませんでした。

小泉元総理が辞書で調べても『もりつち』としか載っていないと言われていたようで、確かにほとんどの辞書には『もりつち』と掲載されているようです。訓読みと音読みを合わせることは通常ないことです。

ではなぜ『もりど』なのでしょう？フリーアナウンサーの梶原しげる氏によると、

「もりつち」という発音は「つち」と「た行」が連続して「つ」を「無声化」させる「面倒くささ」や、「ち」という「音の力」は今ひとつインパクトに欠けます。それに比べれば、「もりど」の「ど」には「ど」という音が元来持っている、極めて大きな力強さがある。「どまん中」「ど迫力」「ど根性」「ど素人」の「ど」でわかるように、「ど」という音そのものが持つ響きに、私たちは「こりゃあ大変だ！」という気にさせられます。

「なんで、もりつち、しなかったんだ！」より、「なんで、もりど、しなかったんだ！」の方が、“問題提起力”が高そうな気もする……とうことらしいです。

灯油タンクのチェックを

この季節、灯油を使った暖房器具をお使いの方も多いことでしょう。お風呂・キッチンなどの給湯も灯油ボイラーを使っているご家庭も多いはず。ボイラーをお使いの場合、灯油タンクが設置してあるかと思いますが、年数が経過していると、タンクに錆が発生していることがあります。

その錆を放っておくと、灯油の漏出が起こってくるので、その前にタンクの塗装をしなければなりません。タンクの塗装は錆止め、仕上げ塗装を含めて5000円～1万円前後が目安です。

また、タンクの底に溜まった水もタンクの底についている水抜き栓をひねって、1年に一度くらいは抜くようにしておきましょう。



編集後記

10年近く使用していた会社の複合コピー機がとうとうダメになってしまい、新しく入れ替えました。その複合機でこのひげくま通信を印刷していますが、画像の鮮明さや印刷速度が格段に良くなり、技術の進歩を改めて感じました。

東 武志

昭和36年創業 ずっとあなたのお抱え大工



株式会社 相互建設

〒921-8056 金沢市押野1-27
TEL 076-241-8668 FAX 076-241-8614
URL www.sougokensetsu.com
e-mail info@sougokensetsu.com

